

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：現代社会学部 名前：竹澤 智美 作成日：2025年12月4日

1. 教育の責任

実証科学である心理学の研究法および、得られたデータの分析方法と結果の共有方法を、受講生が体感しながら自らのものとして身につけ、利用できるようなる授業を目指している。

通学課程

春学期：学びの道しるべ A・心理学統計法 I・現代社会特別講義【感性の心理学 I】

秋学期：学びの道しるべ B・現代社会特別講義【感性の心理学 II】

通信課程

スクーリング：心理学実験演習 A・心理学実験演習 B

通信授業：認知心理学

2. 教育の理念

心理学を基礎として、一人ひとりの学生が自分の未来を切り拓けるよう、高い志と、そのために必要な力を涵養することを目標とする。具体的には心理学の基礎知識や考え方を身につけたうえで、ひとのこころや行動を客観的に捉え、分析して、他者に伝えることを通じ、学生自身が心地よい生活を営むことはもちろん、社会に貢献できる実感がもてるようにしたい。

3. 教育の方法

実験・調査の実施と分析

受講生とともに実際に必要とされるテーマに沿ってデータを収集し、感性のものさしの構築から、感性の可視化までを行う。この過程で Excel の基礎的な操作から、SPSS を利用した応用的な分析までを体験し、自分のものとして利用できるよう授業を構成した。授業の最終段階ではグループで協力して発表を行い、互いに評価を行う。この一連の活動を通じ、受講生一人ひとりが調査の計画、実施、分析、結果の公表まで必要な知識と技術を身につける。

授業資料の作成と配布

特に既定がない限り市販の書籍は用いず、PowerPoint によるプレゼンテーション資料やレジュメ、授業内で提出するためのファイルを自作している。教科書の指定がある場合でも、内容の要点および関連情報を PowerPoint にまとめて提示する。また資料を電子媒体で配布することにより受講生が授業を聞くことに集中し、自身が興味を持った内容を主体的に学ぶように誘導している。

4. 教育の成果

受講生が授業内で収集した実験・調査のデータは、学会の年次大会で報告することもある。一例を挙げる。

竹澤智美 (2025). 印象の可視化によるドーナツの食感の共有 関西心理学会第 136 回大会発表論文集, 電子版.

竹澤智美・釜阪寛 (2025). グミの食感の印象評価尺度の構築とマップ による可視化 第 20 回日本感性工学会春季大会予稿集, 2B02.

5. 改善への努力と今後の目標

可能な限り受講生の様子を見る、授業内で対話をするなどして、受講生の学習進度を確認し、授業を進める速度や授業内容の調整を行っている。多くの受講生が各授業で求められる基礎知識と技術を確実に身につけられるよう努めたい。

【添付資料】

シラバス